

第12回 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2023年1月23日（月） 9:30～10:36	
開催場所	町田市立鶴川第四小学校 1階ランチルーム（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	豊田範子、杉山由香子、平城聖子、北川もと、竹村礼子、田中昭光、大隅明、仲村清彦、浅沼秀作、◎鵜坂映子、○悴田隆良 （◎会長、○副会長）
	事務局	指導課、教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、教育センター
傍聴者	0名	

議事内容

1 開会

会長 本日で本検討会は最終回となるので、議事の進行に先立ち、教育委員会学校教育部長より一言ご挨拶をいただく。

学校教育部長 町田市教育委員会学校教育部長の石坂です。
検討会委員の皆様におかれましては、2022年2月から、全部で12回の検討会にご参加いただき、忌憚のないご意見をいただいたこと、本当に感謝申し上げます。

時には暑い中に通学路の現地点検にご参加いただき、時には今日のように寒波襲来という寒い中でもお集まりいただいた。

この検討会での議論の中には、通学路の安全確保など今すぐにでも対応しなければならぬものから、学校施設の開放のことや保護者組織の合流のことなど、今後まだまだ検討していかなければならないものも検討していただいた。いずれも、子どもたちがその時代に合った教育が適切に受けられるようにしていくための、子どもたちのための議論であったと思っている。

本検討会は本日をもって閉会となるが、2023年度以降も引き続き新校舎で子どもたちが教育を受けられるようになるまで、仮称ではあるが、鶴川西地区新設小学校新たな学校づくり推進会を設置しまして、保護者代表や地域代表、学校代表の方々と、この事業の進捗状況を確認していくとともに、必要な意見交換を行わせていただきたいと考えている。

引き続き皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。御礼とさせていただきます。誠にありがとうございました。

2 第11回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

委員 細かい点だが、資料の4ページにどん帳の話が出ていたが、制作の費用がどこから出るというのはまだ決まっていないのか。

新たな学校推進課 費用負担を含め、具体的にはまだこれからの検討というところだが、報告書とし

てはどん帳等の作成時期について触れた文章を記載している。

3 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会報告書（案）について

新たな学校推進課 （資料2説明）

まず、同時に検討会を開いている他地区と合わせて報告書としての体裁を整えるために、目次であるとか、それから構成の部分を少し見直したところについて報告する。

目次をご覧いただきたい。今までは第2章の各検討内容の見出し部分に「新たな学校の通学負担の軽減」や「新たな学校の通学路の安全対策」という形のタイトルにしていたが、報告書の中の検討内容はいずれも新たな学校に向けた内容になるので、「新たな学校の」という部分を取り、シンプルに「通学負担の軽減」や「通学路の安全対策」というタイトルにした。

また、新たな学校づくりに関連して市の各担当部署から説明した学校跡地、避難施設機能、学童保育クラブ、特別支援学級に係る内容は、これまでは第1章の概要の中に記載をしていたが、検討内容の一つとして第2章の検討内容の最後に「11その他新たな学校づくりに関連する事項」として、32ページ以降に新しく項目を設けて、検討会でいただいたご意見を追加して記載したのでご確認ください。

そのほか、現在検討を進めている他地区での意見も踏まえながら、全体をとおし各議事における検討の前提となるタイトルのすぐ下に来るリード文の文言の見直しであるとか、図表を大きくして見やすくするなどの修正を行った。これらの修正は報告書としての意図をより伝えやすくするという考え方から、委員の皆様から頂戴したご意見には触れない部分で修正をした。

なお、前回検討会において報告書の修正については会長にご一任いただいたことを受け、修正についてはすべて会長にご確認いただいている。しかしながら、皆様のご意見を報告書に反映する部分については大変重要な内容となるので、修正した箇所を会長よりご説明いただく。

会長

それでは、前回の検討会で皆様からいただいたご意見を踏まえ記載内容を追加、修正した箇所について私から説明する。

まず、委員の皆様のご意見には触れない部分について、他地区の検討会における意見も踏まえながら修正した内容については、今までの検討経過を大きく逸脱するような記載に変わっているものではなかったということを念のため報告する。

それではまず、「はじめに」をご覧いただきたい。ここでは、町田市新たな学校づくり推進計画が策定されてから本検討会が開催されるまでの経過や、本検討会を振り返っての私の感想として、委員の皆様には本当に多くの課題に対して、新しい学校の子もたちのことを考え、積極的にご意見、ご提案をいただいたこと、その中で、私自身も鶴川地域の歴史や変遷など、知らなかった鶴川をたくさん学ぶことができたことを記載している。そして、最後に、地域の皆様の熱い思いを1つに束ねた、地域に愛される新しい学校ができることを強く願っていると締めくくっている。

通学路の安全対策では、新しい通学区域を設定するに当たって地域の方々の理解が必要になるとのご意見を踏まえて、「(2)通学の安全対策に向けて」の2行目の最後に「地域の方々のご理解を得ながら対策を進めていただきたい」という文章を追加した。

施設整備内容では、新しい学校は地域住民の方々の避難施設としても利用するという視点を持って施設整備を考えたほうがよいのご意見を踏まえ、「(2)新たな学校の施設整備に向けて」の3段落目の2行目の最後に、「避難施設としての機能など、地域で使う視点も捉えながら」という文章を追加した。

鶴川西地区新たな学校名(案)では、記載内容の追加、修正はないが、検討会の議論の中で鶴川東地区との整合性を図った名前にしたほうがよいのご意見があったため、ここで鶴川東地区の検討会で選定された学校名3案を報告する。選定された3案は、鶴川東小学校、鶴川坂の上小学校、鶴川みどり小学校である。なお、新しい学校名については、意見募集や皆様のご意見を踏まえ、教育委員会で選定することを改めてお伝えする。

歴史の継承については、物品の保存だけではなく、なくなってしまう校舎の思い出を残していくことも検討したいというご意見や、歴史の継承に当たっては卒業生の声を聞いてみたらいいのではないかとのご意見をいただいたので、「(1)検討会における意見」の鶴川第四小学校グループに追加した。

学校運営協議会やボランティアコーディネーターなどの地域協働については、新しい学校に移る際に人材面のバックアップをしてほしいのご意見があったので、「(2)鶴川西地区の新たな学校の地域協働に向けて」の最後に、「また、人材面など、新しい学校に移る際のバックアップをお願いしたい」という記載を追加した。

以上が、前回の検討会において皆様からいただいた意見を踏まえて報告書を修正、追加した部分である。

今の説明について、ご不明点やご意見などがあれば伺いたい。

(各委員からの意見なし)

それでは、今回の確認をもって、鶴川西地区の新たな学校づくり基本計画検討会報告書の内容を確定させる。こちらを本検討会の意見としまして、皆様を代表して、後日教育委員会に提出する。

4 今後のスケジュールについて

新たな学校推進課 (資料3説明)

委員

新校舎建設期間の避難所について。その間、鶴川第四小学校の避難所は閉鎖になるが、その間もし災害があったときは鶴川第三小学校まで避難ということになるのか。

また、鶴川第四小学校に新しい学校ができた後は、鶴川第三小学校の代わりに鶴

川第二中学校が使用できるかなと思うが、その鶴川第二中学校も工事に入ったあとは、やっぱり鶴川第四小学校まで避難することになるのかな、というのが地域として一番気になるので伺いたい。

新たな学校推進課 報告書の避難施設の部分でも記載しているが、防災課と自治会とで協議し避難先を決めていくため、今後、調整の場を設けていくというのが今の段階で決まっていることになる。来年度以降、その調整の場において具体的に検討していき、その検討状況を来年度設置する推進会に報告いただいたり、意見交換していただいたりしながら進めて行きたいと考えている。

委員 今話さなくてもいいことかもしれないが、統合時の教員の人事面で配慮が必要じゃないかと思っている。鶴川第四小学校が開校したとき、校長先生や副校長先生、教務主任の先生は早くに決まっていたと聞いている。そういうような配慮をして、スムーズに新しい学校がスタートできるようにしていったようなので、町田市教育委員会もきっと何かそういうようなことを配慮してくれることを期待している。

委員 推進会のことについて、資料に記載している設置期間が新たな学校を開校する日までとなっている。新たな学校が開校するのは2026年度だが、資料の表では2029年度までになっているので、整合性を取ったほうが良いと思う。

新たな学校推進課 資料の書き方がわかりづらくて申し訳ない。最終的には新校舎が完成する2029年度の頭まで、と考えている。

会長 これで本検討会の全ての検討項目について議論が終了した。

昨年2月の第1回検討会から、実に1年間にわたって本当に多岐にわたる項目についてご議論いただいてきた。本日をもって検討会は閉会となるが、学校統合に向けての準備はむしろこれからがスタートで、次年度以降にも新たな学校づくり推進会という組織を中心に様々な準備を行っていくことになるが、この検討会において皆様にご議論いただいた内容がその道しるべになる。

最後に、そのような重要なお議論を行っていただいた本検討会での1年間を振り返っての感想や、これからの学校統合、新たな学校づくりに向けての思いなどについて、皆様からそれぞれ一言ずついただきたい。

委員 自分が卒業した小学校が、卒業した次の年に非常にマンモス校になったので、学校を統廃合することになって学校名が変わった、という経験がある。自分の出た学校の名前が変わったり、なくなったりというのは、そこを卒業した人たちにとっては本当にすごく重要なことだと思う。私の子どもたちはみんな鶴川地区の学校を卒業したので、学校がなくなるのはやっぱりすごく寂しいと言っていた。新しくできる学校が、これから入学する子どもたちの心のよりどころとなるような、素晴らしい学校になるよう祈っている。

委員 私は、1つ目は、ああよかったなと思うこと、2つ目は、こうするとさらにもっとよかったんじゃないかなと思うことの2点をお話しさせていただきたい。

1点目、よかったなと思うことは、1年間、それなりに順調に検討が進み、報告書を出せることになったということ。ああ、よかったなとほっとしている。私は、学校

統合は絶対しなければならないという考えを持っている。その理由は、教育の質の維持と向上である。私はこれまでの教職の経験から、生徒数の減少で学校が小さくなっていき、それに伴って先生が少なくなっていくということは教育の質の低下につながりやすいと考えている。

推進計画では、適正規模を小学校は3から4学級、中学校は4から6学級としているが、自分としては小学校は4学級以上、中学校は5学級以上と考えている。なぜかという、小学校で各学年に4学級あれば、国語が得意な先生、算数が得意な先生、社会が得意な先生、理科が得意な先生というふううまく配置できる。そういう学校が望ましいと思っている。

これを中学校でいえば、国語、英語、数学、社会、理科。この5教科について、学校全体に各3名以上の先生がいれば、それぞれの先生が1学年だけに集中できる。例えば数学の先生が2名だったら、1年と2年を掛け持ち、2年と3年を掛け持ちしなければならない。どちらの体制が授業や準備に打ち込めるかは明らかだと思う。

そして、市立小中学校は学級数によって教員の配置の数が決まってくる。例えば、中学校では、学年2学級で計6学級だと配置される教員の数は10名になる。中学校は教科担任で国語、数学、社会、理科のほか、技術と家庭まで含めると10教科あるので、学校に数学の先生1人、英語の先生1人と各教科先生1人になってしまう。だから、小規模校化が進むと教育の質の維持という点ではすごく難しく、中学校は5学級以上が適正規模と考えている。

そのため、学校統合の検討を進めるにあたって様々な反対の声も上がっていることは承知していたが、この鶴川西地区の検討会ではそうならないでほしいなと思っていた。しかし、検討会を2回、3回と回を重ねるごとに、そういう心配はしなくて大丈夫だなと思うようになった。そして、報告書を出すという段になったということで、大変うれしく思う。

この検討会を進めるに当たって事務局の方のご苦勞を思うと、事前の準備だとか、会の当日のことだとか、事後もいろいろ整理しなくちゃいけない、これは相当作業量があると思う。大変よくやってくれたな、ありがたいなと思っている。

そして、事務局の方々以上に会長に御礼を申し上げたいと思う。校長という激務をこなしながら、しかも、鶴川東西の2つの検討会を会長として統括され、そして、このように報告書を取りまとめられた。本当にすごく立派だと、本当に頭が下がる。本当にありがとうございました。

それから、長くなりますけれども、来年度からの推進会もあるということなので、そんなにこだわるわけではないが、こういうことも取り上げてほしいなと思っていたのは、2027年3月をどういう形で迎えるかということ。2026年に今の小学校2年生は6年生になって学校統合を迎え、鶴川第三小学校の校舎で一緒に勉強することになる。でも、2027年の3月の卒業式を迎えると、中学校は別々になるのでさよならしなきゃいけない。6年生の先生は特に、統合を迎えた子どもたちの身になって、1年間、みんな一緒にこうやって友達になろうねということで授業を一緒にや

ってきているはずで、卒業して中学校は別々になってしまう、それはないでしょうと思う。だから、計画の統合年度なども再考するため、推進会で皆さんの意見を出してもらって検討するべきじゃないかなと思っている。

それからもう一つは、2026年4月からの鶴川第三小学校の学童へのお迎えの車について。家から学童まで遠くなるから、お迎えの車は増えると思う。現在の鶴川第四小学校の前もかなりの数のお迎えの車が来ている。現状より増えたら、地域とのトラブルが生じることが懸念されるので、どうしたらいいかということを検討していただきたい。私の案は、2026年になったら鶴川第四小学校の学童を真光寺中学校の空き教室か、あるいは真光寺会館に移して、その後3年間、鶴川第三小学校と真光寺中学校または真光寺会館の2か所に学童があるようにする。そして、新校舎ができてもう一つの学童を廃止せず、新しい学校にも学童があるし、真光寺中学校か真光寺会館にも学童があるようにする。そうすれば、お迎えの車が集中することは避けられるのではないかと考えているので、ぜひ推進会での検討する項目に加えていただければありがたいと思う。

1年間、本当にお疲れさまでした。皆さん、ありがとうございました。

委員

私は教員として、新設校が3校、それなりに学校として伝統的に残っている学校に3校勤務を経験した。

新設校の経験でいうと、新設校で一生懸命やりたいという教員をぜひ集めていただきたいと思う。そして、そのようなやる気のある先生が集まったら、その新しい学校づくりがある程度落ち着くまではその学校で働き続けられるような配慮をお願いしたい。

古い伝統校の経験でいうと、その学校の歴史的、伝統的な教育目標があり、入学してくる子どもも、この学校はこういう学校である、というイメージを持って入学してくる。そうすると、若い教員にとっては意見も言えないくらい決まりがあってやりづらさを感じたりもする。新しい学校づくりでは、統合校のこれまでの特色に配慮をしていただきながら、新しい学校の目標が円滑に行われるように配慮していただきたい。それには管理職やリーダーシップを取れるような中堅の先生というのが絶対に必要であると、私の経験からは感じる。

教育委員会には、その学校で汗を流している先生方をしっかりバックアップしてほしい。

委員

私がこの地域に関わるようになったのは、保護者と教職員の会の会長になったことが最初である。それからずっと、この地域の様々な活動に関わってきた。

これまでを振り返ると、本当に色々なこと、栄枯盛衰があった。保護者と教職員の会の会長をやっている頃は、子どもたちは小学校に入ったら友達100人できるかな、みんなで富士山の上でおにぎりを食べたいと歌っていたのが、最近は子どもの数が減り、そういう声が全然聞かれなくなった。やはり私としては、小学校は新生児が100人程度いるような学校で運営していくのが一番いいんじゃないかと思っている。これから先も統合に向けて、あれこれ意見を言ったり一緒に考えたりしなけれ

ばいけないことがあると思うので、できる限りのことはやっていきたいと思う。

皆さんにはいろいろなご意見を聞かせていただいて、大変参考になった。ありがとうございました。

委員

事務局の方、本当にご苦労さまでした。これだけの報告書をまとめるのは本当に大変だっただろうと思っている。

統合して両校が一緒になったときの一番の問題は、通学の距離が長くなるということだなと思っている。検討会でも申し上げたが、今「まちとも」で子どもたちを見ていると、特にランドセルにA4が入るようになってから、1、2年生の荷物が多過ぎると感じる。これは絶対にロッカーを作るなり軽減できる方法を用意しないと、この長距離の通学の安全というのは守れないと感じる。大きな荷物を1年生が抱えて体調が悪くなる人もいると聞いているので、このようなことも今後検討していただきたいと思います。

それから学童について、市の方針としては1学校1学童クラブということは基本的に変わらないと説明を受けたが、これだけの広い地域を考えると、先ほどお話があったが、自分の家の近くに帰ってから学童に行くというようなことを進めることが、子どもたちの安全のためになると思うので、ぜひそういう方向も考えられないか、思っている。

1年間、どうもありがとうございました。

委員

皆さん、1年間お疲れさまでした。

私はおそらく、一番いろいろな立場から意見を言っていたんじゃないかと思う。自分の母校と子どもたち2人が通った学校が統合される。そのタイミングで自分がこの検討会に携わる、すごい奇跡が全部重なったタイミングじゃないと、ここには今いないんだなと思っている。この会議に出るたびに自分の小学校時代のことをまたすごく考える、振り返ることが多くて、子どもたちに話をする機会もすごく増えた。

今、2つ懸念点がある。1つは経済状況の悪化で、もともと予定されていた予算どおりにきちんと建物が建つのかな、ということ。皆さんがこんなに一生懸命考えたものなので、なるべくならすごくよい校舎を建てていただきたいと、まず思います。

あともう1つは、建物がよくなるのはもちろんのことだけれども、当然、中身が伴わなければただの空虚な箱になってしまう。子どもたちはもちろんだが、先生たちも大切。今ではいろいろと難しいところもあるが、私が小学校の時を振り返ると、とても個性的な先生ばかりがいらっしやっした。今の先生方はとてもいい先生が多いが、個性という意味ではなかなか発揮できず、何かすればパワハラだったり、虐待だだりと言われてしまう世の中なので、本当に教育上難しいと思う。子どもたちが不登校になったりすることがまずなくなることが大事ではあるが、同時に先生方の心が健やかで、健全にお仕事できることが子どもたちのためにもなるので、新しい学校がそういう場所であってほしいということを願っている。

1年間、お疲れ様でした。ありがとうございました。

委員

これまでこういうふうに地域の方、学校の先生方、市役所の方とお話する機会はなかなかなかったので、この会議に参加して、皆さんいろいろな意見があり、子どもたちのためにいろいろ調べて意見を述べてくれたのを見て、自分自身もすごく参考になり、すごく勉強になったと思う。

統合に向けて保護者としてはすごく不安はあるが、もうそれをやっつけていかないといけないという現状なので、子どもたちが安全に通学しやすいということと、不安はありながらも仲間が増えることはやっぱり子どもにとってはすごく心強いことなので、子どもたちにとってより良い学校になればな、と願っている。

1年間、ありがとうございました。

委員

検討委員会の皆様、また、事務局の皆様、1年間、本当にありがとうございました。

関わらせていただいてすごく感じたのが、これほどまでに皆さんが一つの新たな学校ができることに関して、一生懸命に調べたりしながら自分自身も含めて考えているということがまずすごいなということ。夏の通学路点検は暑いのに嫌だなと思っていたが、結局、今考えるとあれが一番楽しかったなと感じている。改めて子どもたちが通う姿を想像しながら通学路点検をやらせていただいたことは、自分の中ではすごく大事なことだったと思っている。

また、毎回検討会に関わらせていただく中で、自分自身は町田出身で小中高と町田を出た人間なので、ある程度は知っているつもりでいたけれども、自分が知らなかった歴史とか、成り立ちとか、そういったものを教わることができて、本当に勉強になった。今後、自分自身も生かしていきたいなと思っている。

最後になるが、20歳を超えている長男が小中高ずっと町田で、小中は特にこの鶴川地域の学校で育っている。その息子が鶴川のことが大好きで、ずっとここにいたい、一人暮らししたとしても鶴川駅の辺りにいたいと言っている。検討会での1年間をとおして、地域の皆さんの地域、子どもたちを思う姿勢がちゃんと息子に届いているんだなというのをすごく感じている。

新しい学校が地域から愛される新たな学校になってほしい、ということとともに、私自身は下の子どもも地域を愛することのできる我が子にしっかり育てていきたいな、と決意した。1年間、本当にありがとうございました。

委員

私は鶴川団地ができてから引っ越してきて、全く新しくこの土地になじんできた。子どもも鶴川地区の小学校を卒業しており思いは本当にいっぱいあるので、統合は残念だなという気持ちのほうが強くて、この検討会も渋々出てきたようなところがある。しかし、地域にとっては大事なことなので、真剣に考えていかなくちゃいけないなと思って努力してきた。本当に皆さんのおかげでここまで積み上げてくることできて、よかったなと思っている。これからぜひよろしくお願ひしたい。

会長、事務局の皆さん、本当にご苦労さまでした。

委員

会長の「はじめに」の言葉にもあったが、この検討会をとおして、私も鶴川の地域を本当によく知るようになった。この検討会でいろんなことを知ったことで本当に

この地域が好きになったというか、愛着が湧いた。ですので、統合までまだ3年、そして、統合してから新しい校舎ができるまでまた3年と、ここに新しい学校ができるまで全部で6年間あるので、子どもたちがこの地域を好きになって、それで、新しい学校にすごく期待をし、わくわくして迎えられるようになるといいなということを本当に強く思った。

いろいろありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

会長

皆様、ありがとうございました。1年間、本当にあつという間でした。

現在検討が進んでいる地区の中で、鶴川第三小学校だけ学区が2つに分かれるということで、鶴川東地区と鶴川西地区の検討会に出ることになった。両方とも出ることになったことで、たくさんを知ることができた。鶴川第二小学校のよさ、鶴川第四小学校のよさ、鶴川第三小学校の歴史というのも分かりましたし、検討会を機に鶴川の地をたくさん歩くことで、鶴川の歴史ということについて少しだけでも知ることができた。本当に皆様と過ごした1年間が私の中ではすごく大きなものになった。

1年間、無事に会長としての任が務められたのは、事務局の皆さん、そして、皆様のご協力してくださったおかげです。本当に1年間、ありがとうございました。

5 閉会

会長

(閉会のあいさつ)